



舟渡小だより

令和7年2月12日

板橋区立舟渡小学校

校長 榊田 佳江

令和6年度

特別号

志村五中・舟渡小 響き合う学びのエリア

高校生の「やってみたい」を実現します！『高校生ICTeacher』 《テーマ：にせ情報と生成AI》

校長 榊田 佳江

学校だより2月号で少しだけご紹介しましたが、デジタルネイティブの高校生が本校5年1組児童を対象にICTの授業を以下のとおり実施いたします。

日時：令和7年2月15日（土） 土曜授業プラン学校公開
2～3時間目（9時30分～11時20分 途中 10時15分～10時35分は中休みです）

場所：図書室

学習内容：情報は扱い方を誤ると害のあるものになるが、きちんと情報の入手方法を知り、正しい情報かを判断できるようになり、他者への影響を考えて扱えば人間の生活をより豊かにする便利なものであることを授業参加者に学んでいただきたい。また、世代によって情報（SNSやAI）の捉え方と活用方法が違っても学んでいただきたい。
（高校生からの提案）

公開について：5年1組の授業は、全学年保護者様が参観可能です。

ご協力をお願い：①ふだん生成AIを活用していない児童だけでは話し合いが難しいことが予想されます。生成AIをお仕事で使用している保護者の方がいらっしゃいましたら、ぜひ子どもたちのグループに入って一緒に議論していただきたいです。
②当日は授業の中で児童及び保護者様にアンケートをとる場面があります。大型モニターに二次元コードが表示されますので、保護者の皆様もご協力をお願いいたします。

★本校でチャレンジ授業を行うことになった経緯について★

- ・「高校生ICT Conference 2024」最終報告会において、成果を関係省庁に報告。（総務省、こども家庭庁、文部科学省）-----→
- ・報告会の中で、代表高校生が「新教育プログラム」の提案をした。とてもよい提言であったため、実際に小学生対象のプログラムを考え、授業をやってみていかどうか質問をしたところ「やってみたいです」ということだったため、今回に至る。
- ・6年生を対象としたかったが、高校生も初めて小学生の前で授業をするため、約80名の児童を前に授業実践することが難しかったこと、また、同様なプログラムを来年度以降、志村第五中学校でもトライアル実施を考えているため、今回は5年生の中から1クラスを対象とした。



★当日の流れ★ 高校生は頑張りますが、初めての経験なのでスムーズに進むようご協力ください！

オリエンテーション・・・高校生自己紹介、授業テーマ紹介

アイスブレイク・・・「絵伝言ゲーム」

基礎知識・・・AIとにせ情報の基礎知識について

イントロダクション・・・グループに分かれて「にせ情報〇×クイズ」「AIが発信したにせ情報の信じ込みやすさ体験」

グループワーク・・・4つの班で、にせ情報の見分け方を講義し、実際に体験

まとめ・・・AIとの上手な付き合い方まとめ、振り返り、アンケート、質問タイム

本トライアルが、今後、国の施策へ提言できるものになるよう、私もしっかりとサポートしてまいります。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

こども家庭庁 青少年インターネット環境の整備等に関する検討会 委員 榊田 佳江